

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

ボッチャ競技実施要領

1 競技規則

令和6（2024）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム編成

- (1) チームの構成は男女の区別なく2人1組とする。
- (2) チームの1人は、キャプテンとして腕章等を装着して試合を行う。
- (3) ペアの構成は、「立位」と「座位」の選手とする。
- (4) 障がいの程度に応じてスポーツアシスタント、又はランプオペレーターをつけることができる。
- (5) 試合に出場するチームには、コーチを1名配置することができる。

※選手1名が棄権した場合、参加可能な選手1名が2エンドともオープン扱いで競技することができる。なお、オープン扱いとなった試合は、リーグ戦の成績には反映されない。

3 競技方法

- (1) 3チーム又は4チームのプールに分かれ、各プールにてリーグ戦を行う。
なお、プール分けに際して障害区分は考慮しない。
- (2) 試合は2対2のペア戦を2エンド行い、2エンドの総得点で勝敗を決定する。2エンド終了後に同点の場合は、タイブレイク（各チームの任意の選手によるファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- (3) ジャックボールを含めた各チームの投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ5分とする。タイブレイク（ファイナルショット制度）では、各チームの投球時間は設定しない。

4 コート

- (1) コートの大きさは12.5m×6.0mとする。
- (2) コートのラインテープはボックスサイドライン、ターゲットボックス、クロスには2.0cm幅、それ以外は4.0cm又は5.0cm幅の白色ラインテープを使用する。
- (3) 競技にて使用するスローイングボックスは2番、3番、4番、5番とする。

5 ボール

- (1) 主催者にてボールを用意する。
- (2) 選手は、自身が用意するボールを使用してもよい。その場合、どちらのチームも自分たちが使用するボールを1セット持って試合に臨むことができるが、これより多いボールを試合に持ち込んで서는ならない。

6 用具検査

- (1) 用具検査は公式練習日及び招集所においてランダムチェックにて実施する。
- (2) 検査の結果、基準を満たしていないと判断された競技用具は、試合では使用できない。なお、ボールが基準を満たしていないと判断された場合、試合では主催者が用意するボールを使用しなければならない。

7 ウォーミングアップ

ウォーミングアップは、試合を行うコートにて各プールの第1試合開始前に30分程度行うことができる。また、各試合開始前に、両チームは6球のカラーボールと1球のジャックボールを2分以内で投球練習することができる。

8 招集

- (1) 選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーター及びコーチ（監督含む）は、試合開始20分前から10分前の間に、使用する競技用具を全て持参のうえ招集所に入ること。
- (2) 招集時間に現れなかった選手は原則として棄権とみなし、試合に出場できない。また、招集時間に現れなかったスポーツアシスタント・ランプオペレーター、コーチは原則として試合に参加できず、招集所に持参されなかった競技用具は原則として試合では使用できないものとする。
- (3) 招集所には選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーター及びコーチ以外は入ることができない。

9 ゼッケン

ゼッケンは選手に1枚、スポーツアシスタント・ランプオペレーターに1枚配付する。

選手は選手自身または車いすの前面に、スポーツアシスタントは胸に、ランプオペレーターは背面に、ゼッケンを取り付けることとする。ゼッケンを付けていない選手、スポーツアシスタント・ランプオペレーターは招集時の受付ができないので注意すること。

10 競技進行

(1) 競技時間

競技時間は、原則としてプログラムに記載の競技日程表にしたがって行われるが、試合の延長などにより遅延することがある。その場合は、会場内の記録掲示板に掲示される競技日程表に時間の変更を記載するので、選手及びチーム関係者は都度確認を行うこと。

(2) 競技の準備

競技を開始するにあたって、選手、スポーツアシスタント、ランプオペレーターは各々のゼッケンを付けなければならない。選手は選手自身または車いすの前面に、スポーツアシスタントは胸に、ランプオペレーターは背面にはっきり見える

ように付けなければならない。

各チーム集合後、キャプテンによるコイントスにて投球順序(使用するボールの色)を決定する。

11 表彰、表彰式

- (1) 各プール3位までの選手にメダルを授与する。また、ランプを使用する選手の場合、ランプオペレーターにも選手と同様にメダルを授与する。
- (2) スポーツアシスタント及びコーチはメダル授与の対象外とする。
- (3) 表彰式は競技終了後、プール毎に競技会場で行う。

12 撮影

- (1) スポーツアシスタント・ランプオペレーター、コーチによる競技中の撮影は禁止する。
- (2) フラッシュ撮影は禁止する。

13 その他

- (1) 監督会議は令和6(2024)年10月25日(金)に行う。なお、時間及び場所、開催方法については別途通知する。
- (2) 競技エリアへは、選手のほか、主催者や競技役員の許可を受けた関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 貴重品については、各自責任を持って管理すること。
- (4) 競技エリアは土足禁止であるため、各自体育館シューズに履き替えること。
なお、車いすの選手については、競技エリア入口に設置する粘着マットシートにてタイヤの汚れを落とすこと。
- (5) 競技エリアでは水分補給のみ認め、水分補給以外の飲食は禁止する。
- (6) 選手の控所は、指定された場所を利用すること。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。